

1 指針見直しの趣旨

第2期長野県科学技術産業振興指針（計画期間：平成22～31年度）策定後、情報通信技術の急速な発展等により、科学技術の進歩も大幅に加速し、また、国の科学技術政策や当県が直面する様々な課題等も大きく変化している。

これらの状況変化に的確に対応するとともに、各分野（＝環境保全、保健衛生、工業技術、農業、水産業、林業）の県試験研究機関等の連携強化を図るための仕組みづくりなど、具体的な施策の展開を指針に位置づけること等により、指針をより実効性のあるものとし、指針に基づく取組により、さらなる成果を創出するため、その内容を全面的に見直す。

2 計画期間

指針見直しから平成31年度まで

3 指針の位置づけ

- ・「科学技術基本法」に規定されている地方公共団体の責務に基づき策定するもの。
- ・当県の県政運営の基本となる「長野県総合5か年計画」の実現を、科学技術の面から支えるもの。

4 指針策定の趣旨

科学技術を振興することにより、「質的に豊かな県民生活」と「市場競争力を有する地域産業」を実現し、「貢献」と「自立」の経済構造への転換を促進するための取組に関する方針を示すために策定する。

5 指針の名称の見直し

現行：第2期長野県科学技術産業振興指針



見直し後：長野県科学技術振興指針  
～「質的に豊かな県民生活」と「市場競争力を有する地域産業」の実現をめざして～

※科学技術をより振興し、地域課題を解決することに重点を置いたため、タイトルにあった「産業」はサブタイトルへ。

6 指針の総括的めざす姿

「貢献」と「自立」の経済構造への転換

7 指針の各論的めざす姿

総括的めざす姿の実現に資するものとして、①防災、②健康・福祉、③環境保全、④製造業、⑤サービス産業、⑥農業、⑦林業・林産業の各分野別に設定するもの（詳細は別表のとおり。）。

8 指針のめざす姿の実現に向けた基本的な考え方

本指針では、めざす姿を実現するため、大学・県試験研究機関等において創出された科学技術を活用し、県民や企業、行政などが抱えている地域課題の解決に重点を置く。

9 指針の各論的めざす姿を実現するための具体的取組

詳細は別表のとおり。

10 県の役割

県は、関係機関と連携しながら、大学・県試験研究機関等において創出された科学技術を活用した取組を推進する役割を担う。

11 県試験研究機関の役割

各分野の県試験研究機関は、相互に連携しながら、それぞれの機能に応じて、地域課題の解決に資する科学技術の創出や、科学技術を活用した地域課題の解決方策に係る研究開発から製品化・普及に至るまでの取組を支援するなど、本指針を推進する上で、中心的な役割を担う。

12 県試験研究機関の今後の方向性

施策の展開として掲げている「県試験研究機関等の連携支援の仕組みづくり」を着実に推進し、各分野の県試験研究機関等の連携強化を図る。

13 科学技術人材の育成・確保

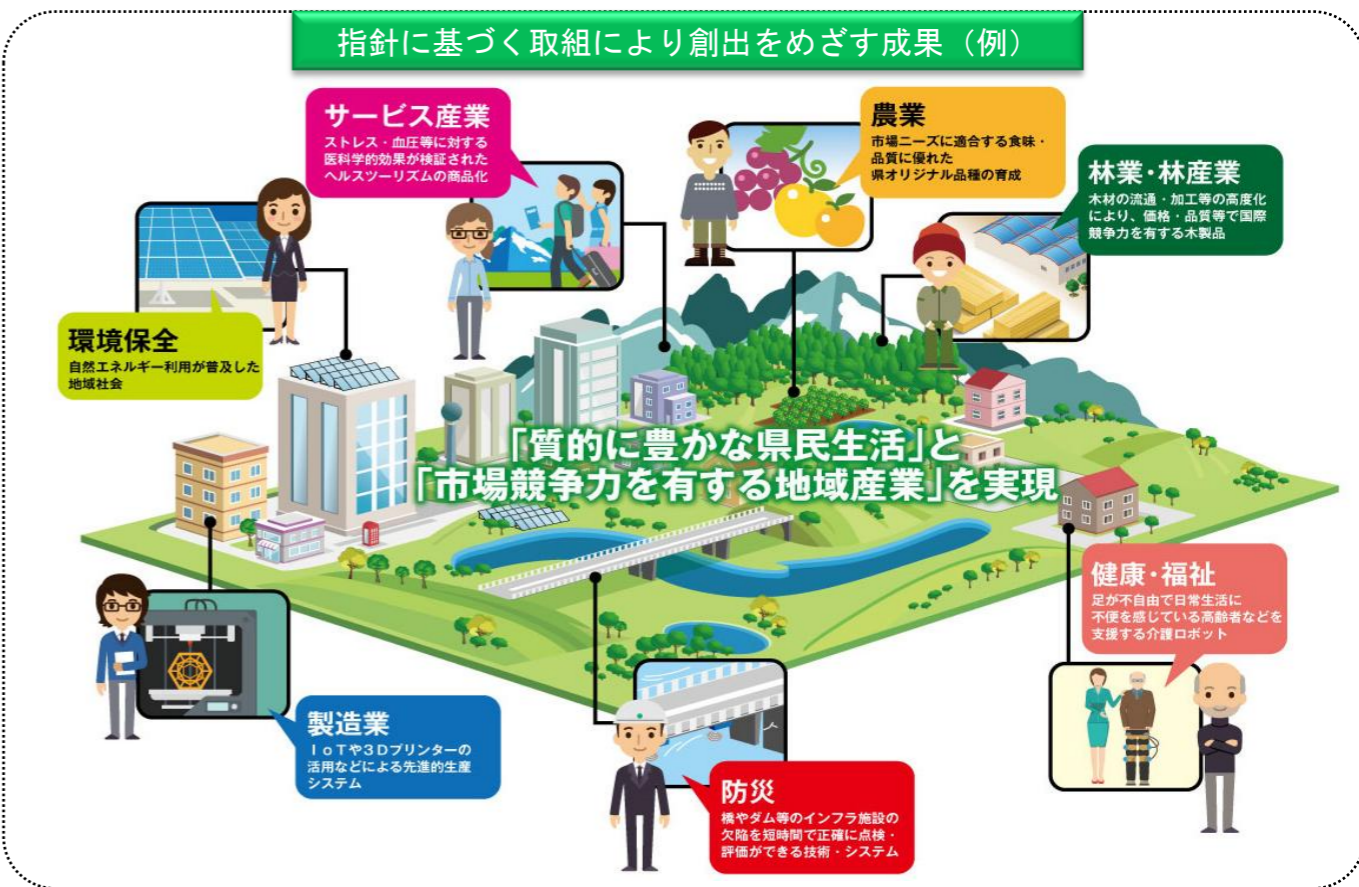
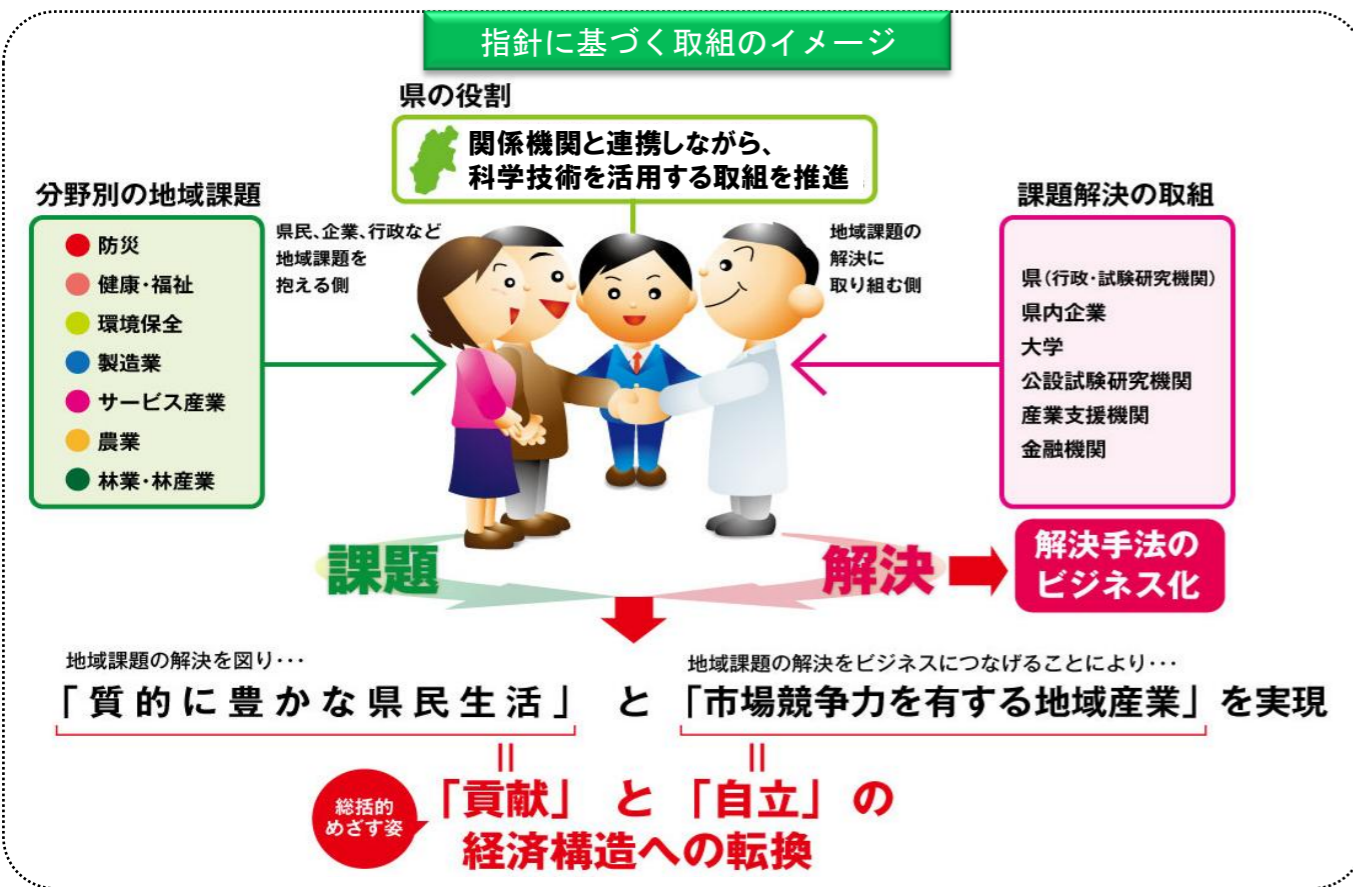
- ・次代の科学技術を担う子どもたちの教育の充実
- ・高等教育の振興
- ・長野県立大学（仮称）の開学による魅力ある高等教育の充実

14 知的財産の活用促進（創出・保護・活用）

科学技術の振興にあたっては、知的財産を積極的に活用していく観点が必要であることから、知的財産に対する県民意識の醸成を図るとともに、活発な研究開発活動等による知的財産の創造、生み出された知的財産の適切な権利化、知的財産の利用の促進に取り組む。

15 指針に基づく取組の進行管理

指針に基づく取組を着実に推進するため、科学技術に係る外部有識者等を構成者とする「長野県科学技術振興検討会議（仮称）」を設置し、進行管理を行う。



別表

指針の各論的めざす姿を実現するための具体的取組(一部抜粋)

分野	各論的めざす姿	めざす姿を実現するための方向			施策の展開 ※今後展開の可能性(=可否)を検討するものも含めて掲載。
		めざす姿を実現する上での課題	課題を解決するための方向性		
防災	①迅速かつ正確な災害情報の収集・共有・発信を行う仕組みの強化により、適時的確な避難行動ができる地域社会の実現	⇒	⇒	⇒	⇒
	②インフラ施設の老朽化による事故等が発生しない、安心して暮らせる地域社会の実現	⇒	⇒	⇒	⇒
健康・福祉	③全国トップレベルの健康長寿の将来にわたる継承・発展の実現	⇒	⇒	⇒	⇒
	④誰もが住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らせる社会の実現	⇒	⇒	⇒	⇒
環境保全	⑤省エネルギー化が進み、自然エネルギー利用が普及した地域社会の実現	⇒	⇒	⇒	⇒
	⑥資源の消費抑制や有効活用が進み、廃棄物の環境への負荷が低減された循環型社会の実現	⇒	⇒	⇒	⇒
	⑦良好な水・大気環境が保全された地域社会の実現	⇒	⇒	⇒	⇒
	⑧生物の多様性が保全された地域社会の実現	⇒	⇒	⇒	⇒
	⑨気候変動に適応する技術開発により、地球温暖化による被害が抑制された地域社会の実現	⇒	⇒	⇒	⇒
製造業	⑩先進的な科学技術の活用による市場競争力を有するものづくり産業の実現	⇒	⇒	⇒	⇒
		⇒	⇒	⇒	⇒
サービス産業	⑪競争力(生産性及び付加価値)の高いサービス産業の実現	⇒	⇒	⇒	⇒
農業	⑫高品質な農産物の安定生産と、生産コストの削減による、農業所得向上の実現	⇒	⇒	⇒	⇒
	⑬国内外で認められる信州産農畜産物のブランド化の実現	⇒	⇒	⇒	⇒
	⑭美しい農村景観や豊かな農村環境が維持・創造される農業・農村の実現	⇒	⇒	⇒	⇒
林業・林産業	⑮高収益・高効率の自立した林業の実現	⇒	⇒	⇒	⇒
	⑯きのこや山菜などの特用林産物の振興による地域経済の活性化の実現	⇒	⇒	⇒	⇒
	⑰木質バイオマスの活用による地域経済の活性化と循環型社会の実現	⇒	⇒	⇒	⇒
	⑱農林業及び自然環境等に対する野生鳥獣による被害軽減の実現	⇒	⇒	⇒	⇒